

二ツ縄手遺跡発掘調査報告書



2001年3月

松江市教育委員会

松江市文化財調査報告書 第89集

ニツ縄手遺跡発掘調査報告書

2001年3月

松江市教育委員会

例　　言

1. 本書は乃木区画整理事業を実施するのに伴い、平成11年度に松江市教育委員会が実施した二ツ
縄手遺跡発掘調査報告書である。
2. 本書で報告する発掘調査は、松江市が国庫補助金、島根県の補助金を得て実施したものである。
3. 発掘調査組織は以下のとおりである。

松江市教育委員会

【平成11年度】

| | | | |
|---------|--------------|--------|---------|
| 教　育　長 | 原　　敏 | 文化財室長 | 岡　崎　雄二郎 |
| 副　教　育　長 | 田　中　寿美夫（～6月） | 文化財室主幹 | 吉　岡　弘　行 |
| | 神　田　義　之（7月～） | 主任上事 | 金　山　正　樹 |
| 生涯学習課長 | 谷　正　次 | 嘱　託　員 | 飯　塚　啓　太 |

| | |
|--------|--|
| 調　　査　員 | 松江市教育委員会　生涯学習課　文化財室 |
| | 文化財係　主任上事　金山正樹、嘱託員　飯塚啓太 |
| 発掘作業員 | 加藤恵治、目次　勝、上江直紀、斎藤幸夫、安達　福、吉岡昭雄、木村俊弘 高橋　積、神田正一、野津　潔、森本鶴吉、宇津　実、昌子　昇、須山武道 田淵春男 |

【平成12年度】

| | | | |
|---------|---------------|--------|---------|
| 教　育　長 | 原　　敏（～9月） | 文化財室長 | 岡　崎　雄二郎 |
| | 伊　藤　忠　志（10月～） | 文化財室主幹 | 吉　岡　弘　行 |
| 副　教　育　長 | 神　田　義　之 | 主任上事 | 古　藤　博　昭 |
| 生涯学習課長 | 川　原　良　一 | 嘱　託　員 | 飯　塚　啓　太 |

4. 本書の作成は下記の者が携わった。
　　〈遺物実測〉　金山、飯塚
　　〈淨　古〉　飯塚
　　〈拓　本〉　荻野哲二（松江市教育委員会嘱託員）
　　〈遺物撮影〉　古藤
5. 本書の執筆は金山、古藤が行ない、編集は古藤が行なった。
6. 出土遺物は松江市教育委員会生涯学習課文化財室で保管している。

目 次

| | |
|---------------|----|
| 第Ⅰ章 水没に至る経緯 | 1 |
| 第Ⅱ章 位置と歴史的環境 | 2 |
| 第Ⅲ章 調査の概要とまとめ | 4 |
| 遺物観察表 | 15 |
| 図 版 | |
| 報告書抄録 | |

挿 図 目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 第1図 松江市位置図 | 1 |
| 第2図 ニッケル手遺跡と周辺の遺跡 | 3 |
| 第3図 ニッケル手遺跡トレンチ配置図 | 5 |
| 第4図 調査トレンチ土層断面図 (T-1、T-2) | 7 |
| 第5図 調査トレンチ土層断面図 (T-3①、②) | 8 |
| 第6図 調査トレンチ土層断面図 (T-4、T-5①、②) | 9 |
| 第7図 調査トレンチ土層断面図 (T-6、T-7) | 10 |
| 第8図 出土遺物実測図(1) | 11 |
| 第9図 出土遺物実測図(2) | 12 |
| 第10図 出土遺物実測図(3) | 13 |
| 第11図 出土遺物実測図(4) | 14 |

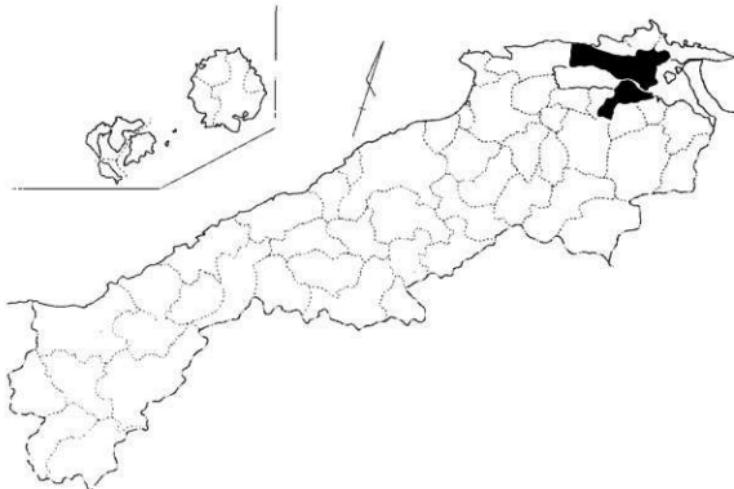
図 版 目 次

| |
|--------------------------|
| 図版1 調査トレンチ完掘状況 (T-1～T-3) |
| 図版2 調査トレンチ完掘状況 (T-4～T-7) |
| 図版3 出 土 遺 物 |
| 図版4 出 土 遺 物 |
| 図版5 出 土 遺 物 |
| 図版6 出 土 遺 物 |

第Ⅰ章 調査に至る経緯

(仮称) 松江市浜乃木・乃木福富上地区画整理組合において組合施行による土地区画整理事業計西(施行面積12.6ha)が松江市浜乃木・乃木福富町地内で持ち上がった。そのため、松江市都市建設部都市計画課から平成10年5月26日付都第201号で埋蔵文化財の試掘調査依頼書が提出された。開発区域は現況水田・畑であり、本市教育委員会においてトレンチ26箇所を設定して同年7月22~24、27日及び12月9日において重機掘削による試掘調査を実施した。その結果、トレンチ2箇所において土器(弥生時代~古墳時代前期)が多量に出土し、遺物散布地が確認されたことから、開発区域内の道路部分について遺物が多量に出土したトレンチ周辺については更に詳細な調査が必要である旨を事業者宛回答した。遺物散布地が発見されたこの遺跡については字名を取って、「二ツ繩子遺跡」と命名した。

松江市浜乃木・乃木福富上地区画整理組合設立準備委員会は平成11年3月1日付で埋蔵文化財発掘の届出(文化財保護法第57条の2)を本市教育委員会経由で文化庁長官宛に提出した。これを受けて本市教育委員会は同年4月22日付松教文第33号で埋蔵文化財発掘調査の報告(同法第98条の2)を文化庁長官宛に提出した。本市教育委員会において平成11年4月20日から7月5日までの期間、トレンチによる調査を実施した。



第1図 松江市位置図

第Ⅱ章 位置と歴史的環境

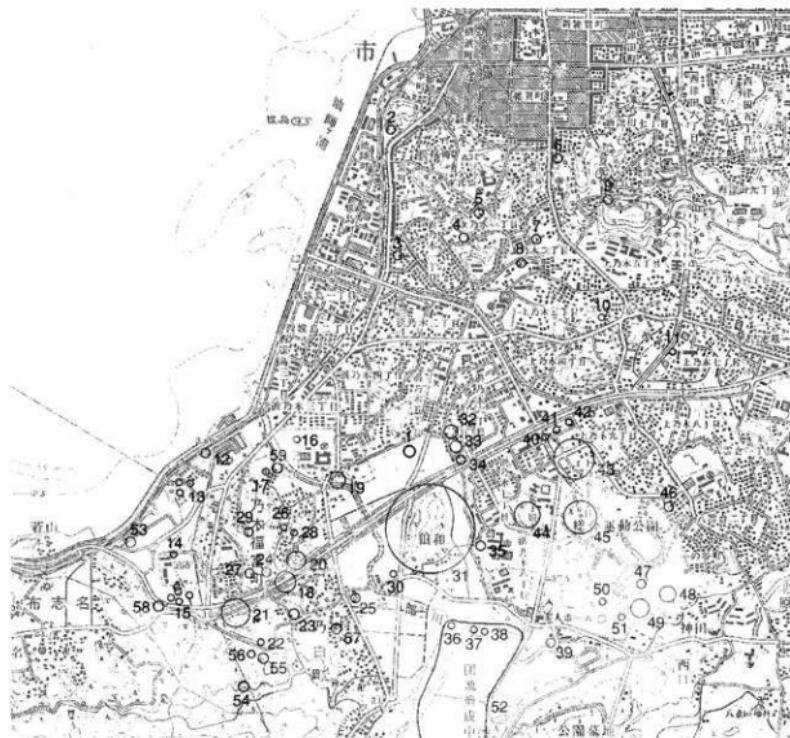
二ツ縄手遺跡（1）は松江市南方の乃木平野に位置する。

旧石器・縄文時代の遺跡では、畠田遺跡（29）、福富上遺跡（18）、などで旧石器時代の玉飾製ナイフ型石器や尖頭器が出土している。また、大角山遺跡から縄文時代の鉢形土器、松本古墳群（21）、福富上遺跡では縄文時代の落とし穴状土壙や後期一晩期の上器・石器がそれぞれ出土している。

弥生時代の遺跡としては、松江農林高校の元農園があった辺りに欠田遺跡（16）があり、石包丁や弥生時代前期から古墳時代前期の土器が出土しており、乃木地区における稻作文化の始まりを想像させるものである。また、本遺跡南側に三重の環壕遺跡をもつ田和山遺跡群（31）が存在する。中期から後期にかけては、遺物散布地の門田遺跡（59）、埴丘墓・土壙墓が築造された友田遺跡（33）が、また、後期の竪穴式住居跡1棟が検出された畠田遺跡（29）が知られている。その中でも友田遺跡では、四隅突出型埴丘墓を含む埴丘墓6基（周溝を共有しあい、接して造られている）と土壙墓26基（うち6基から石鐵が出土しており、石鐵が突き刺さった者をそのまま埋葬している）が検出され、貼石や突出部の形状から埴丘墓は弥生埴丘墓としては県内でも最古期の部類に入るものである。袋戻遺跡群（52）は縄文時代から近世にかけての複合遺跡で、集落跡・古墳群・横穴墓群・古墓群などが検出された。住居から古墳・横穴墓・古墓などが密接して存在していたことは、昔の人々の生活を知る上では貴重な資料と成り得るものである。

古墳時代の遺跡としては、全長61.4mの大型前方後円墳を中心とした7基の古墳が存在する大角山古墳群（15）や長砂古墳群（43）などの中期古墳が知られ、中期後葉から後期中葉にかけては来待石製の組合せ式式石棺、子持勾玉が出土した二名留古墳群（13）、後期には前方後方墳の乃木二子塚古墳（41）、前方後円墳で横穴式石室をもつ田和山1号墳（31）や岩屋山古墳（54）などの古墳が知られているが、その他では多くが星形1号墳（27）などの小規模古墳や横穴墓である。横穴墓は一部花形紋様の象嵌が施されている刀身が出土した奥山遺跡（44）、赤いベンガラが内部に塗ってある蓋環が出土した弥陀原横穴群（55）や松木横穴墓群（56）などが知られている。玉作遺跡としては瑪瑙や碧玉を産出する花仙山の東域にあたる大角山遺跡（14）、福富上遺跡（18）、乃白権現遺跡（57）から出土した多くの玉原石、未製品、砥石類が知られており、古墳時代中期に短期間生産されており、大角山1号墳の埋葬者が玉作り製作集団を束ねていたのではないかと考えられる。製鉄関連遺跡としては、製鉄廐連用の炭窯と言われる横口付炭窯跡が県内で初めて発見された布志名火谷II遺跡（53）がある。

奈良時代の地誌である『出雲国風土記』には、この付近には「通道」が通っていたと記載されているが、松本古墳群や才の神遺跡（58）では古代道と思われる遺構が検出されており、この地域が古くから交通の要衝の地であったことが窺われる。



1. ニツ縄手遺跡 2. 堀尾忠晴公墓 3. 伝佐々木高綱墓 4. 荒神古墳 5. 昆沙門山古墳群 6. 西ノ原遺跡
 7. 宇賀 I 遺跡 8. 宇賀 II 遺跡 9. 檜山古墳群 10. 経塚古墳 11. 向荒神古墳 12. 福富湖岸遺跡
 13. 二名古墳群 14. 大角山遺跡 15. 大角山古墳群 16. 欠田遺跡 17. 神立遺跡 18. 福富 I 遺跡
 19. 福富 II 遺跡 20. 松本遺跡 21. 松本古墳群 22. 松本古墳 23. 松本修法塚跡 24. 乃白玉作跡
 25. 乃白遺跡 26. 屋形遺跡 27. 屋形古墳群 28. 蓮花塚遺跡 29. 罂田遺跡 30. 萊藤前遺跡
 31. 田和山遺跡 32. 向原古墳群 33. 友田遺跡 34. 南友田遺跡 35. 後友田古墳群 36. 野向古墳
 37. 普沢遺跡 38. 大久保古墳群 39. 大久保谷古墳 40. 二子塚古墳 41. 乃木二子塚古墳 42. 下沢遺跡
 43. 長砂古墳群 44. 奥山遺跡 45. 運動公園内古墳群 46. 矢の原遺跡 47. 神田古墳 48. 神田遺跡
 49. 浩ヶ谷遺跡 50. 勝負谷遺跡 51. 深田遺跡 52. 袋尻遺跡群 53. 布志名大谷 II 遺跡 54. 岩屋口古墳
 55. 弥陀原横穴群 56. 松本横穴墓群 57. 乃白権現遺跡 58. 才の神遺跡 59. 門田遺跡

第2図 ニツ縄手遺跡と周辺の遺跡

第Ⅲ章 調査の概要

調査は区画整理計画の道路部分にあたる箇所にT-1～7のトレンチを設定し、人力による掘削にて行なった。

以下は各トレンチごとの調査結果である。

T-1

基本層位は茶色粘質土（耕作土）、濁黒色粘質土（黄色土混入）、濁青色粘質土（比較的縮まっている）、白色砂質土、灰色粘質土、緑色粘質土（一部緑色砂質土でシルト層）である。第1層から第2層は近年の圃場整備による盛土と思われる。

出土遺物の量は少なく、灰色粘質土から土師器片1、緑色粘質土から土師器片1、石器1がそれぞれ出土している。遺構は検出されなかった。

T-2

基本層位は明茶色土（真砂土）、濁青褐色粘質土、黑色粘質土（トレンチ北側で近年一部掘削されている）、一部灰色砂質土、褐色粘質土（シルト層）である。第1層から第2層は圃場整備による盛土と考えられる。

遺物は第3層黒色粘質土の上部で近世の陶磁器が、下部で弥生式土器底部1、土師器片数片、土師質土器片1、土鍤1、黒曜石剥離片1がそれぞれ出土している。遺構は検出されなかった。

T-3

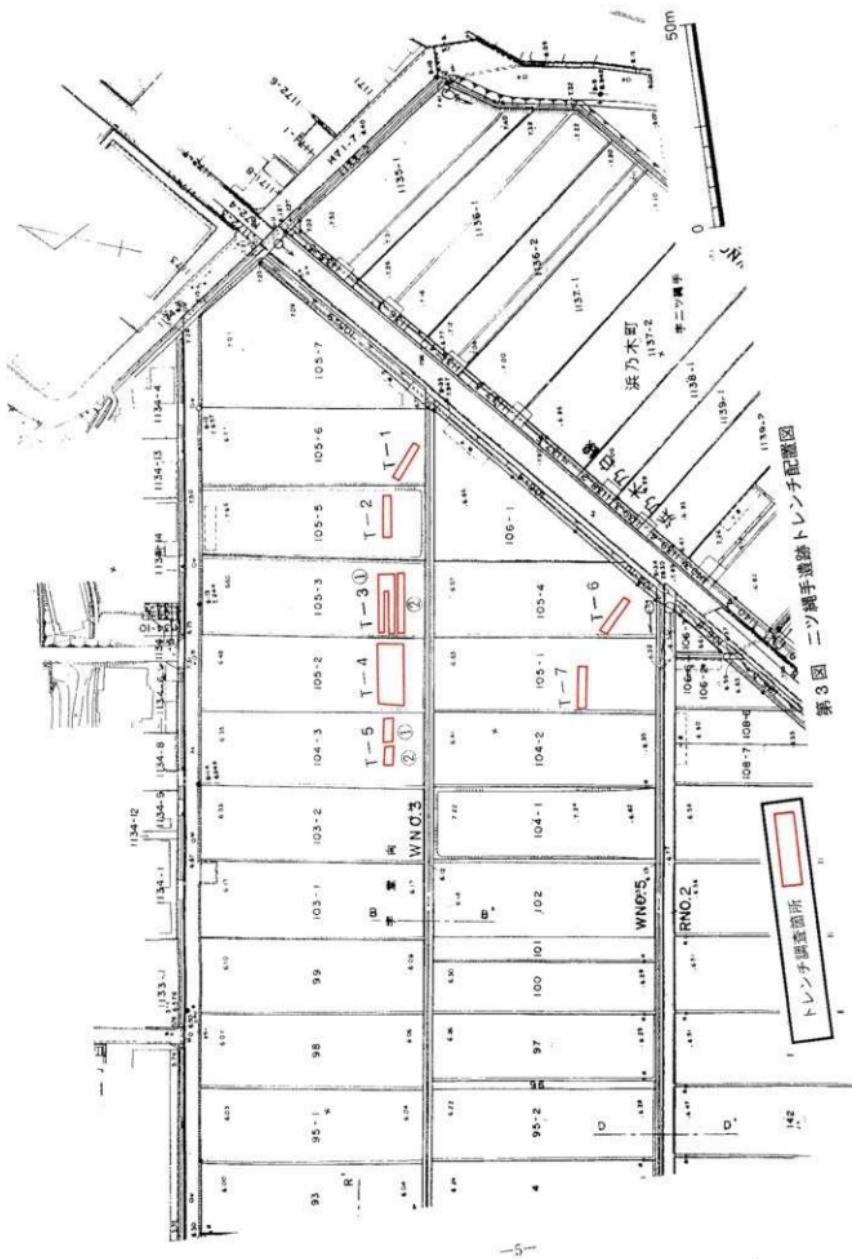
基本層位は茶色粘質土（耕作土）、青色粘質土、濁茶色粘質土（または茶色砂質土）、黑色粘質土、緑色砂質土（シルト層で砂粒子を大量に含む）である。第1層から第2層にかけては圃場整備による盛り土と考えられる。

遺物は第4層の黒色粘質土から弥生式土器片、土師器片、土鍤1点が出土している。黒色粘質土に有機物を含む層から摩滅した土器の細片や比較的大きな土器片が多量に出土したためトレンチを拡張して包含層を追跡した。遺構は検出されなかった。

T-4

基本層位は茶色粘質土（青色粘質土混入、耕作土）、一部茶色砂質土、濁青色粘質土、黑色粘質土（炭化物を含む）、緑色粘質土（シルト層で一部緑色砂質土混入）である。

遺物は第1層の茶色粘質土より須恵器片、陶磁器片が出土し、第2層からは寛永通宝1が出土している。第4層の黒色粘質土にはT-3と同様に有機物が含まれ、同層中より縄文土器1、弥生式土器片、土師器片、土鍤1がそれぞれ出土している。T-3と同様に摩滅した土器の細片が比較的多量に出土したためトレンチを拡張して包含層を追跡した。遺構は検出されなかった。



第3圖 ニツ縄手遺跡トレンチ配図

T-5

基本層位は茶色粘質土（耕作土）、青色粘質土、淡黒褐色粘質土、緑色砂質土、黒色粘質土、緑色粘質土（シルト層）である。

遺物は茶色粘質土から陶磁器片2、黒色粘質土から弥生式上器片、土師器片が出土している。T-3・4と比べて遺物の出土量が極端に減ったことから遺物の出土状況を確認するため調査区を北側に拡張した。その結果、T-5内においては遺物の出土量はどの位置でも一定して摩滅した細片でしか確認されず、T-4内で遺物の出土状況に変化が現れるものと思われ、T-5を拡張した後に、T-4を拡張したものである。遺構は検出されなかった。

T-6

基本層位は茶色粘質土（青色土混入、耕作土）、黒色粘質土、緑色粘質土、灰色砂質土（炭を含む）、緑色粘質土（シルト層で灰色砂質土混入）である。出土遺物は少なく、黒色粘質土から縄文上器片、弥生上器片、土師器片が数片出土している。遺構は検出されなかった。

T-7

基本層位はT-6と似ており、茶色粘質土（耕作土）、青色粘質土、緑色粘質土（粘性が弱く、締まっており、藻を含む）、灰色砂質土、黒色粘質土、緑色粘質土（シルト層で灰色砂質土混入）である。黒色粘質土から縄文土器片、弥生土器片、土師器片が数片出土している。遺構は検出されなかった。

ま　と　め

調査の結果、本遺跡において遺構は検出されず、自然流路によって堆積した遺物包含層であることが判明した。

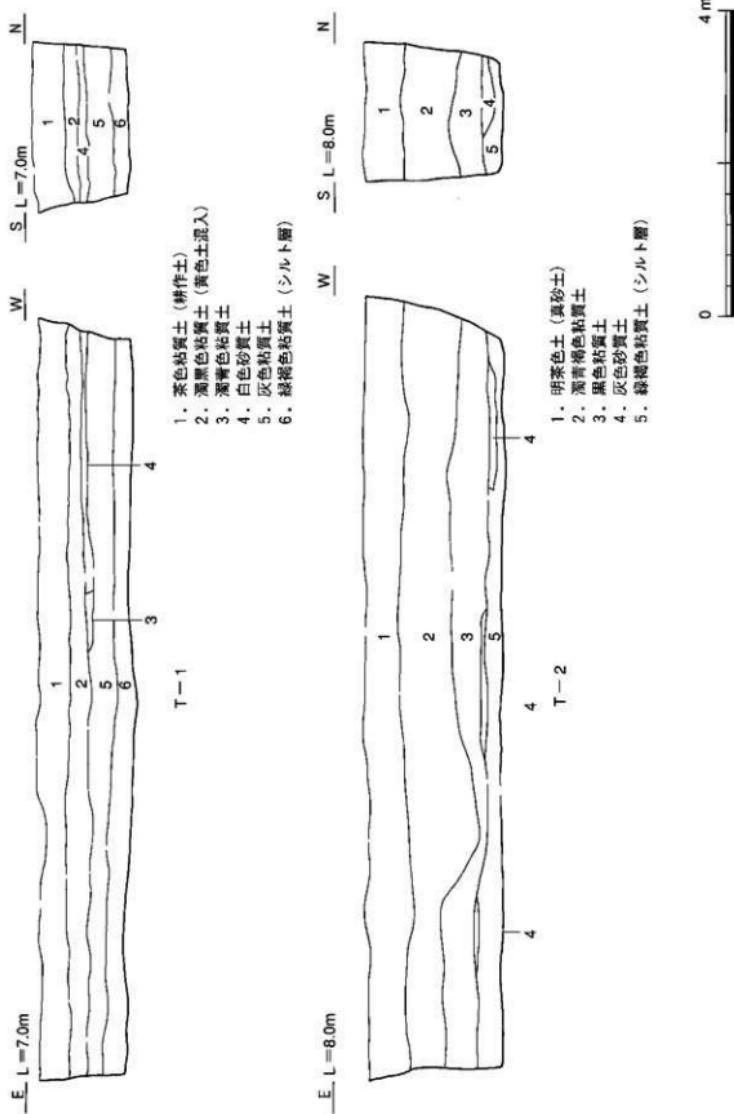
土層堆積状況はT-1～5の範囲では耕作上下の層で中～近世の遺物が出土していることから、近年の圃場整備によって旧耕作土上に盛土が施されているものと考えられる。中～近世の遺物を含む層より下層では昔からの土層堆積が保たれているものと見られる。

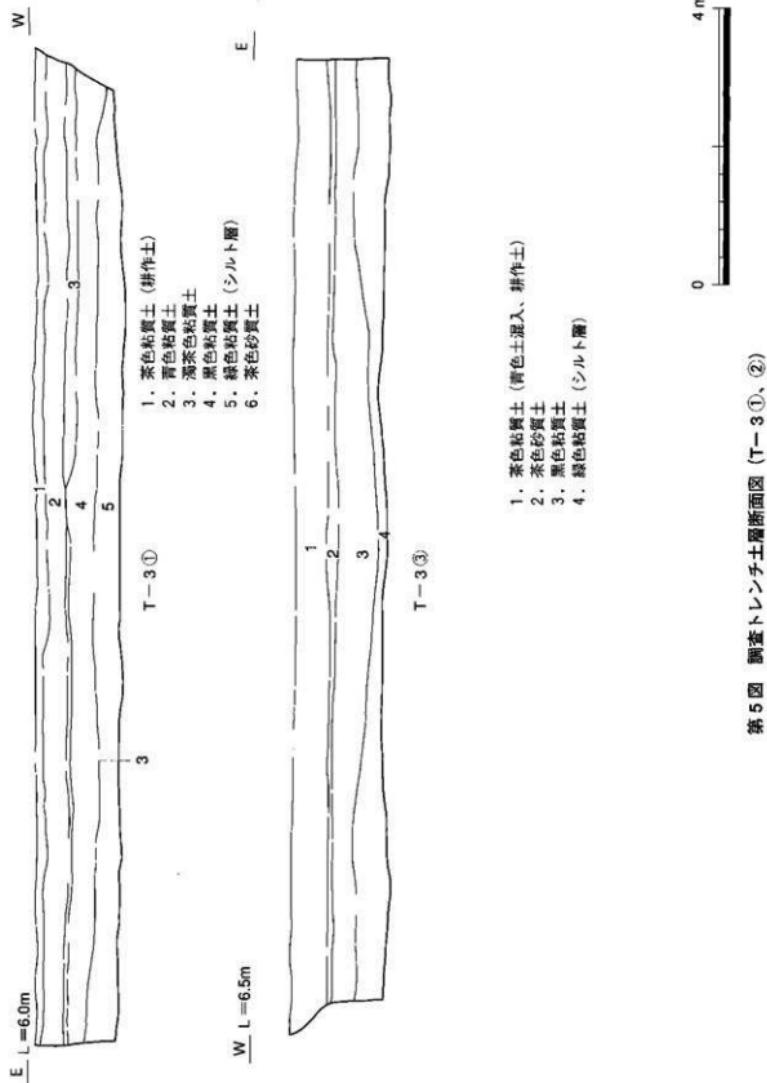
調査区のほぼ全域に渡って遺物が検出された土層はT-2からT-7に見られる黒色粘質土中からであり、特にT-3、4では摩滅した土器の細片が多量に検出されている。

この黒色粘質土は部分的に有機物を含んでおり、現在の忌部川にあたる昔の河川の流れが何らかの原因によって湿地化し植物が繁茂した時期の堆積であると考えられる。湿地化する以前はT-3、4辺りを中心として自然流路が存在したのであろう。

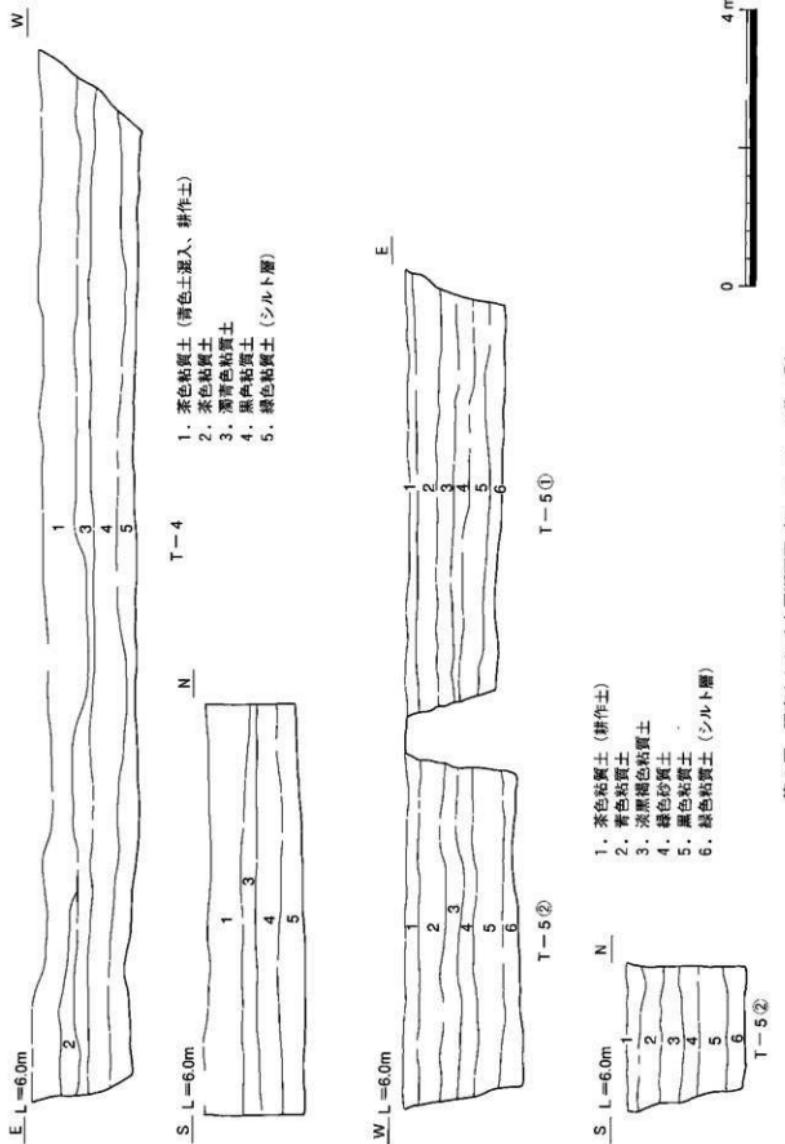
今回の調査では遺構は検出されなかったが、流れ込みによる遺物として縄文時代晩期から古墳時代前期の遺物が出土しており、忌部川流域の丘陵縁部には未だ発見されないこの時期の遺構を作り遺跡が存在することを示唆するものであり、今後の注意が必要である。

第4図 調査トレーンチ土層断面図 (T-1、T-2)



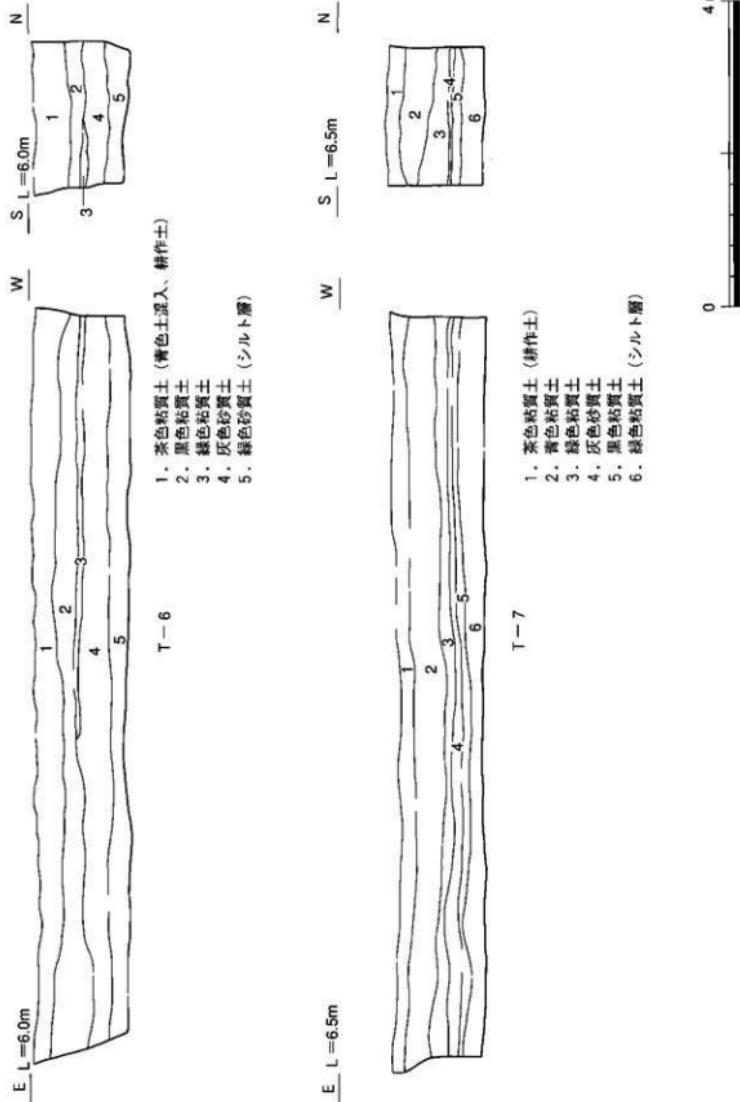


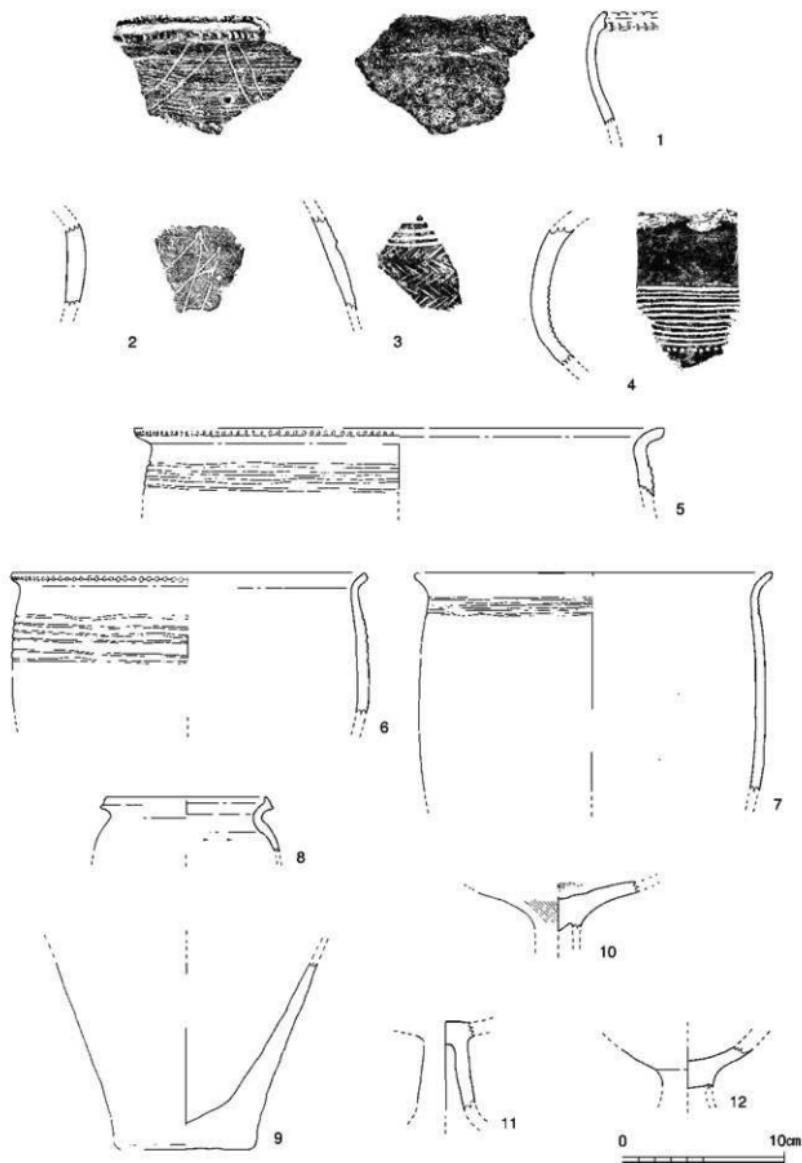
第5図 調査トレーンチ土層断面図 (T-3①、②)



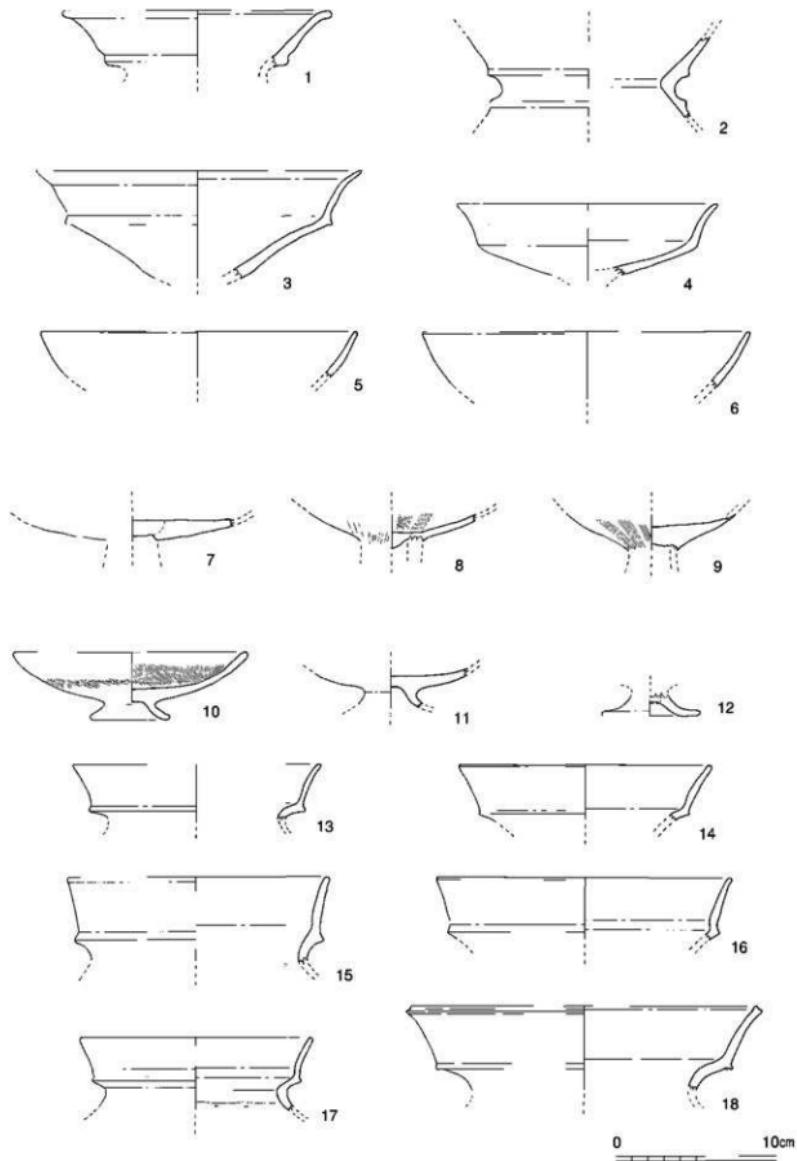
第6図 調査トレシチ土層断面図 (T-4、T-5①、②)

第7図 調査トレーンチ土層断面図 (T-6、T-7)

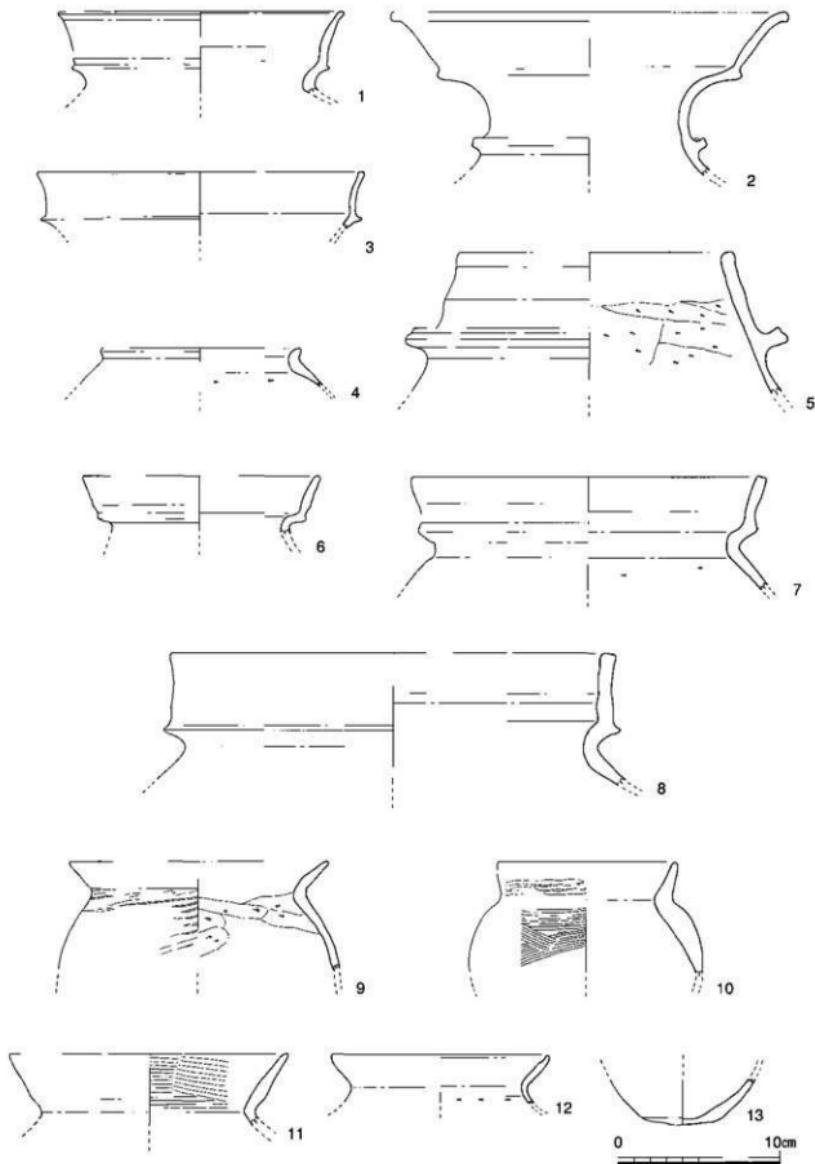




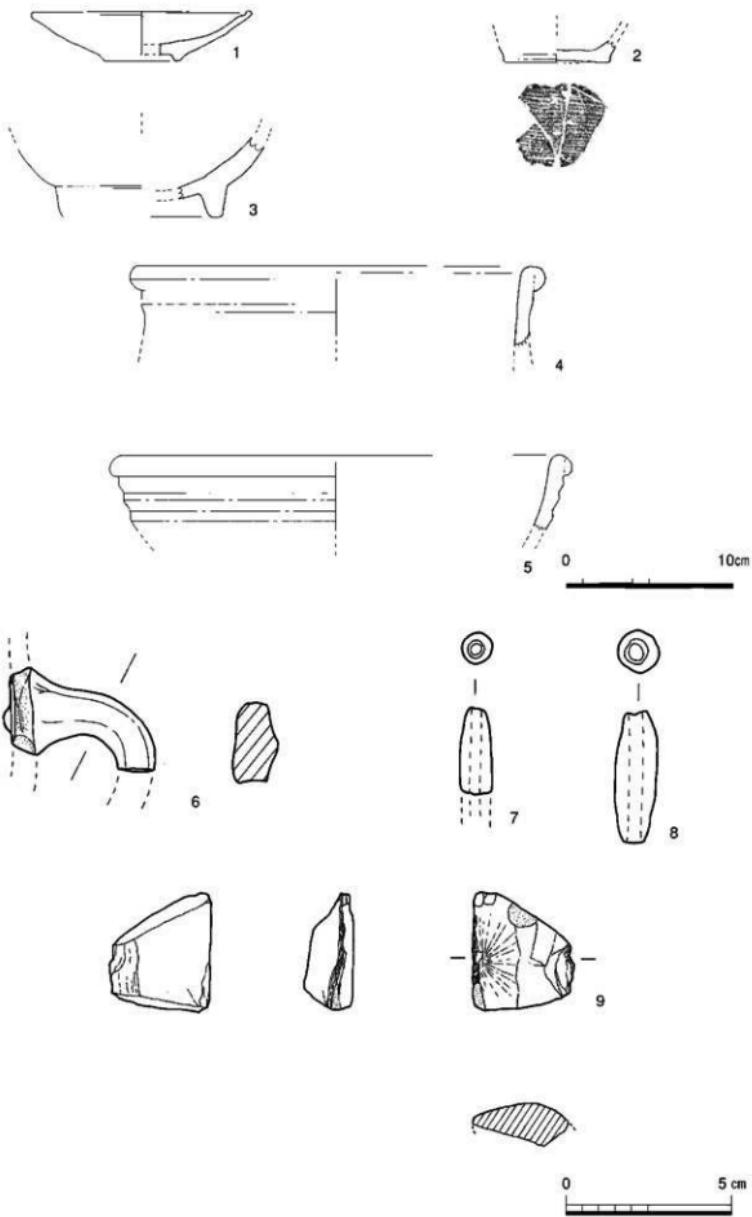
第8図 出土遺物実測図(1)



第9図 出土遺物実測図(2)



第10図 出土遺物実測図(3)



第11図 出土遺物実測図(4)

遺物観察表

| 検査番号 | 種類 | 法見(cm) | 形状・手法・形態的特徴 | | 尺寸 | 焼成色調 |
|-------|-----------|---------|--|----------------|------------------|---------------------|
| | | | (外) 距離以下を除く (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | | |
| 8-1 | 織文土器 深鉢 | | 口径以下を除く (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 2~3mm程度の砂粒を多く含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 8-2 | 乳生土器 直 | | 口沿部、内面に刻痕が施される 刃部にへり焼きによる文様 | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm程度の砂粒を少し含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 8-3 | 乳生土器 売 | | 周縁に斜め線による羽状文、上半に4本以上手行波線 | | | 良好 外面 暗褐色 |
| 8-4 | 乳生土器 売 | | 周縁に11条のへり焼き波文、以下円形の割れ突起文 | | 1~2mmの砂粒を含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 8-5 | 弥生土器 瓢 | 口径 32.6 | (外) 口縁部 フコナデ、肩部 ナシ (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 3mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 |
| 8-6 | 弥生土器 瓢 | 口径 21.8 | (外) ハサカ (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 3mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 8-7 | 弥生土器 瓢 | 口径 21.6 | (外) ナシ (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 3mm以下の砂粒を多く含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 8-8 | 弥生土器 直 | 口径 9.8 | (外) リコナデ (内) リクレタリコナデ (内) ヘラケズミ | 内面以下を除く (内) ナシ | 5mm以下の中粒を少し含む | 良好 暗褐色 |
| 8-9 | 弥生土器 (盛底) | 口径 7.8 | 内外ともに底面により不明 | | 1~5mmの砂粒を含む | 良好 黄褐色 |
| 8-10 | 弥生土器 高杯 | | (外) ハサカ (厚底) (内) ハサカ (厚底) | | 1~2mmの砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 8-11 | 弥生土器 高杯 | | (外) ハサカ (厚底) (内) ハサカ (厚底) | | 0.5mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 |
| 8-12 | 弥生土器 高杯 | | 内面ともに底面により不明 | | 1~2mmの砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-1 | 土器底 烧き落石 | 口径 16.4 | (外) リコナデ (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm程度の砂粒を少し含む | 良好 暗褐色 |
| 9-2 | 土器底 烧き落石 | 口径 15.6 | 調査は底面により不明 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-3 | 土器底 烧き落石 | 口径 13.6 | 内面ともに底面により不明 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-4 | 土器底 烧き落石 | 口径 16.2 | 内面ともに底面により不明 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-5 | 土器底 烧き落石 | 口径 19.2 | 内面ともに底面により不明 | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm程度の砂粒を多く含む | 良好 黄褐色 |
| 9-6 | 土器底 烧き落石 | 口径 19.9 | (外) リコナデ ヨコゴマ | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-7 | 土器底 烧き落石 | | 内面ともに底面により不明 | | 1mm以下の砂粒を少し含む | 良好 暗褐色 |
| 9-8 | 土器底 高杯 | | (外) リコナデ ハサカ (内) 底面により不明 | | 1mm以下の砂粒を少し含む | 良好 暗褐色 |
| 9-9 | 土器底 高杯 | | (外) リコナデ ハサカ (内) 底面により不明 | | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-10 | 土器底 低脚杯 | 口径 14.6 | 内面共に斜めしているが、外部外側に斜め方向のハケメ、底面共に内斜に斜め方ハケメ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-11 | 土器底 低脚杯 | 口径 4.2 | 8.4 の向かって記載が認められる。斜め方ハケメ | | | |
| 9-12 | 土器底 低脚杯 | 口径 6.2 | 内面ともに底面により不明 | | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-13 | 土器底 低脚杯 | 口径 15.2 | 内面ともに底面により不明 (1) 底面落石はやや外反し、縁はやや傾いて | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-14 | 土器底 低脚杯 | 口径 15.3 | (外) リコナデ (内) 底面落石はやや外反し、縁はやや傾いて | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を含む | 良好 乳白色 |
| 9-15 | 土器底 低脚杯 | 口径 15.8 | (外) リコナデ (内) 底面落石はやや外反する 縁は比較的傾いて | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 9-16 | 土器底 低脚杯 | 口径 17.8 | (外) リコナデ (内) ヨコナデ 斜面端部にやや反し、縁は傾いて | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 黑褐色 |
| 9-17 | 土器底 低脚杯 | 口径 14.0 | (外) リコナデ (内) ヨコナデ (内) 底面よりヘラケズミ | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 黑褐色 |
| 9-18 | 土器底 低脚杯 | 口径 21.3 | (外) リコナデ (内) リコナデ (内) ヨコナデ ヨコナデ 以下至尊 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 黑褐色 |
| 10-1 | 土器底 烧き落石 | 口径 17.4 | 内面共にヨコナデ | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 10-2 | 土器底 烧き落石 | 口径 20.1 | (外) リコナデ 口縁部はやや外反し、縁は傾いて 端部は平型 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を少々含む | 良好 暗褐色 |
| 10-3 | 土器底 烧き落石 | 口径 24.2 | (外) リコナデ ヨコナデ 底面 (内) リコナデ ヨコナデ 底面 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 黑褐色 |
| 10-4 | 土器底 烧き落石 | 口径 12.2 | (外) リコナデ ヨコナデ (内) 口縁部 ヨコナデ 以下 ヘラケズミ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 10-5 | 土器底 烧き落石 | 口径 16.3 | (外) リコナデ ヨコナデ 以下 ナシ (内) リコナデ ヨコナデ ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 10-6 | 土器底 烧き落石 | 口径 14.2 | (外) リコナデ (内) ナシ 縁は外反し、縁は傾いて | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 |
| 10-7 | 土器底 烧き落石 | 口径 21 | (外) リコナデ (内) リコナデ ヨコナデ 刃部 ヘラケズミ 1) 底面部分に凹撫 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 |
| 10-8 | 土器底 烧き落石 | 口径 22.1 | (外) リコナデ (内) ヨコナデ ナシ 口縁部はやや黒色 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 10-9 | 土器底 烧き落石 | 口径 16 | (外) ヨコナデ ナシ 石目より印押シテ (内) ナシ リコナデ ヘラケズミ | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 10-10 | 土器底 烧き落石 | 口径 11.2 | (外) ナシ (内) ナシ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm程度の砂粒を含む | 良好 外面 暗褐色 |
| 10-11 | 土器底 烧き落石 | 口径 17.3 | 工具による斜め削り、縁のカタメ 調査は斜め方のハケメ | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を多く含む | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 10-12 | 土器底 烧き落石 | 口径 13.4 | (外) リコナデ (内) リコナデ 後ナゼ 国底トヨリヘラケズミ | 内面以下を除く (内) ナシ | 1mm以下の砂粒を多く含む | 良好 暗褐色 |
| 10-13 | 土器底 烧き落石 | 口径 23.0 | 内面共に暗褐色の釉 | 内面以下を除く (内) ナシ | 0.5mm以下の砂粒を含む | 良好 暗褐色 |
| 11-1 | 青磁器 盆 | 口径 13.2 | 内面、及び口縁部外側に薄く白色の釉がかかる | | 細密 | 良好 暗褐色 |
| 11-2 | 青磁器 盆 | 口径 6.5 | 底部 静止止め | | 0.5mm程度の砂粒をわざに含む | 良好 暗褐色 |
| 11-3 | 青磁器 盆 | 底径 8.4 | 高凸部に捺さる茶系の輪を描す (内) 淡黄灰色の釉を施す 内外共にハケメ | | | 良好 外面 暗褐色 内面 暗褐色 |
| 11-4 | 青磁器 盆 | 口径 23.0 | 内外共に暗褐色の釉 | | | 良好 暗褐色 |
| 11-5 | 青磁器 盆 | 口径 26.5 | 口縁部外側と内面に灰褐色の釉 | | | 良好 暗褐色 |
| 11-6 | 須恵器 盆 | | 側面4面がケズリによって面取りされている | | 1~2mmの砂粒を少し含む | 良好 暗褐色 |

土製品・石製品観察表

| 検査番号 | 種類 | 法見(cm) | 形状・手法・形態的特徴 | | 尺寸 | 焼成色調 |
|------|----------|--------|---|---|----|------|
| | | | (外) 長さ2.7cm、最大幅1.1cm、高さ3mm、胎土、緻密である 燃成 良好 色調 明灰褐色 | (内) 長さ2.4cm、胎土1.2cm、孔径4.5mm 胎土、緻密である 燃成 良好 色調 淡黄色 | | |
| 11-7 | 土器 | | | | | |
| 11-8 | 土器 | | | | | |
| 11-9 | 石斧 (未燃出) | | | | | |

図 版

図版 1



T-1 完掘状況（西側より）



T-1 土層堆積状況（西側より）



T-2 完掘状況（西側より）



T-2 土層堆積状況（西側より）



T-3 完掘状況（西側より）



T-3 土層堆積状況（西側より）



T-3② 完掘状況（東側より）



T-3② 土層堆積状況（東側より）

図版 2



T-4 完掘状況（北側より）



T-4 土層堆積状況（北側より）



T-5① 完掘状況（西側より）



T-5② 完掘状況（東側より）



T-6 完掘状況（西側より）



T-6 土層堆積状況（東側より）



T-7 完掘状況（東側より）



T-7 土層堆積状況（東側より）

図版 3

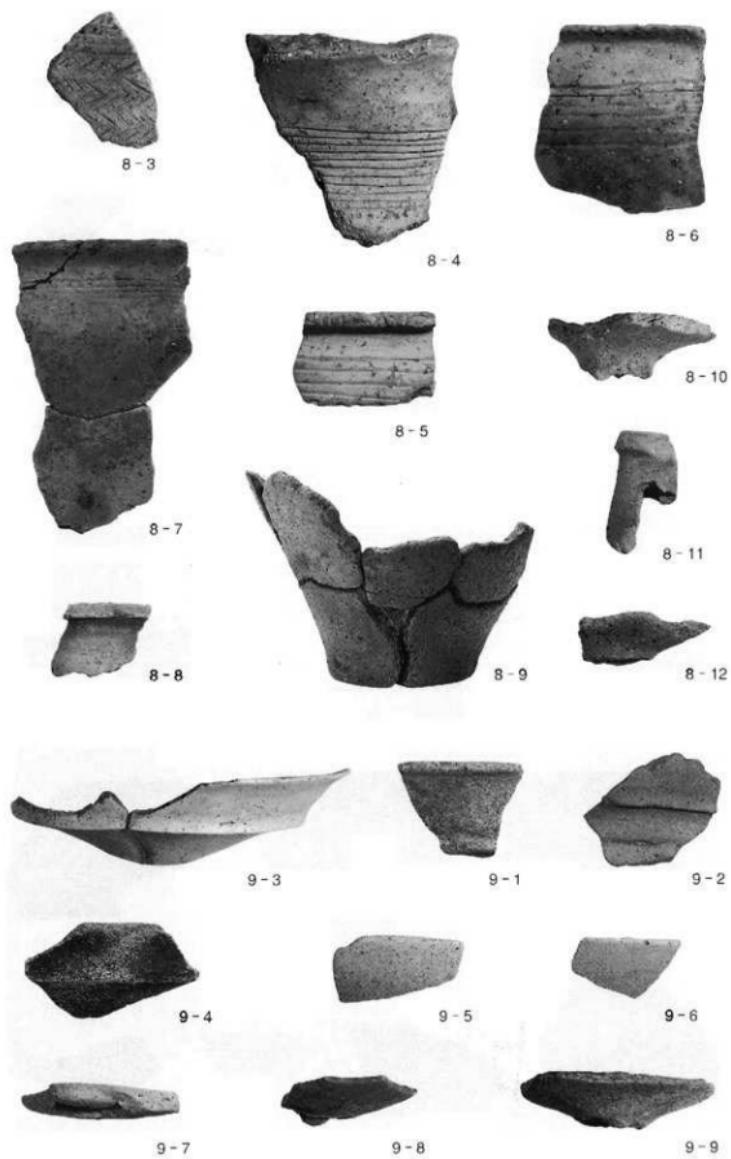


8-1

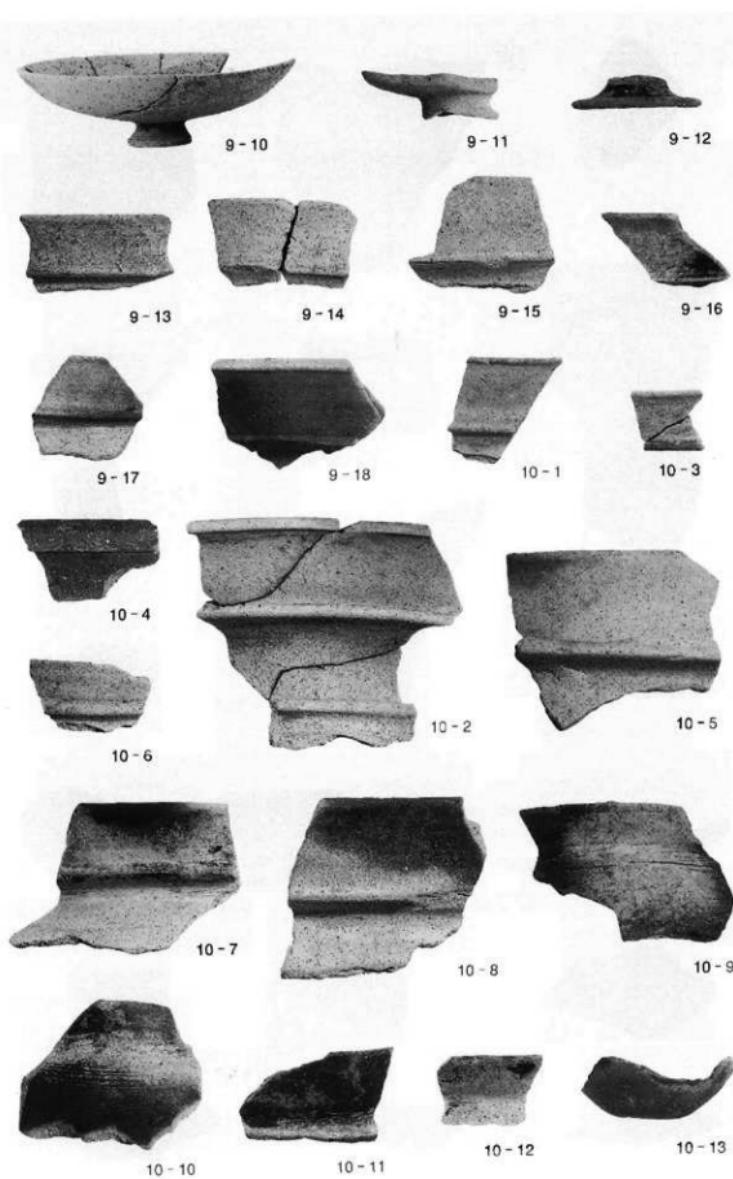


8-2

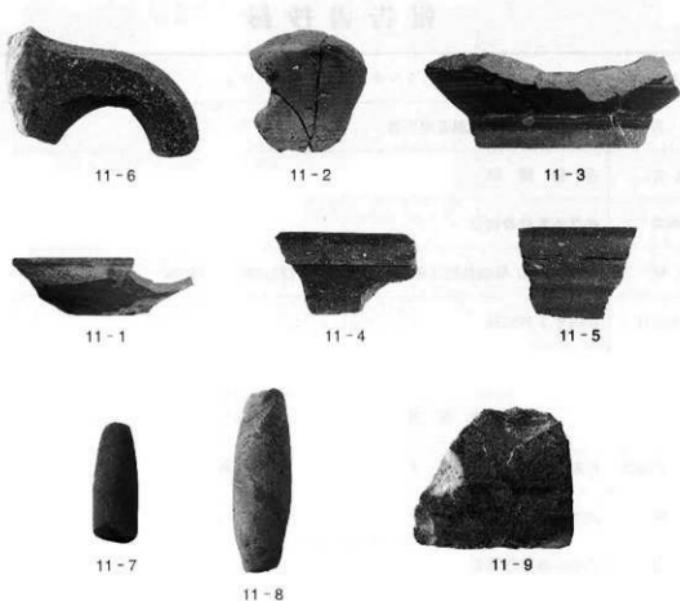
図版 4



図版 5



図版 6



報告書抄録

| フリガナ | フタツナワテイセキハックツチョウサホウコクショ | | | |
|---------------------|--|-------------------|-------------|-------|
| 書名 | 二ツ縄手遺跡発掘調査報告書 | | | |
| 編集者 | 古藤博昭 | | | |
| 編集機関 | 松江市教育委員会 | | | |
| 所在地 | 〒690-8540 島根県松江市本次町86番地 TEL.0852(55)5294 | | | |
| 発行年月日 | 2001年3月31日 | | | |
| フリガナ | フリガナ | 北緯 | 東経 | |
| 所収遺跡名 | 所在地 | 36° 26' 17" | 133° 3' 21" | |
| フタツナワテイセキ 二ツ縄手遺跡 | 島根県松江市浜乃木町、乃木福富町 | 調査面積 | コード | |
| 調査期間 | 1999.04.20～1999.07.05 | 270m ² | 市町村 | 32201 |
| 調査原因 | 乃木区画整理事業 | | 遺跡番号 | D50 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 |
| 二ツ縄手遺跡 | 散布地 | 縄文時代 | | 繩文土器 |
| | | 弥生時代 | | 弥生土器 |
| | | 古墳時代 | | 土師器 |
| | | 中世 | | 須恵器 |
| | 近世 | | 陶磁器 | |
| | | | 石製品 | |
| | | | 木製品 | |

二ツ縄手遺跡発掘調査報告書

2001年3月

発行 松江市教育委員会

印刷 株谷口印刷
松江市東長江町902-59